

(公社)地すべり学会 新潟支部 平成 28 年度第 1 回幹事会 議事録

日時：平成 28 年 12 月 20 日（火）18:00～20:00

場所：新潟大学農学部 A501 会議室

出席者：福岡，渡部（直），竹内，佐藤（壽），山下，渡部（哲），坪谷，辻川，徳間，柚木脇，五十嵐，藤ノ木，千葉，佐藤（博），井藤，古宇田，権田，稲葉（18 名）

記録：山下

1. 第 45 回地すべりシンポジウム

(1) 日時・場所

稲葉幹事長から開催日時と会場について，以下の報告があった。

当初は開催日を 2017 年 5 月 12 日（金）と予定していたが，5 月 12 日は北陸地質調査業協会の総会・講演会の予定があるため，第 1 希望：6 月 2 日（金），第 2 希望：6 月 9 日（金）として会場の空きを確認する。（その後，会場空き状況を確認し，開催日は 2017 年 6 月 9 日（金）に決定した。）

会場：県民会館小ホール（総会・シンポジウム），第 4 会議室（講師控室，昼食会場）

意見交換会：白山会館

(2) テーマ・内容，講師，タイムスケジュール

福岡支部長から，案（ドローンの可能性，地すべり GIS の現在）が示され，これをもとに検討した結果、以下のように決定した。

テーマ：「ドローン・SfM 技術の地すべり研究への応用」

タイムスケジュール：午前 11:10～12:00，午後 13:00～16:30

講師：基調講演 60 分，その他の講演 30 分／名（5 名程度）とする。

講師の選定・打診に関しては，福岡支部長，渡部（直）副支部長，権田幹事があたる。

講師にお願いするシンポジウム趣旨の内容作成については，福岡支部長が作成する。

(3) 今後の予定

今後の予定の役割分担については，以下のように決定した。

各担当

- ・県民会館との打合せ，レンタル物品，昼食手配：井藤幹事
- ・意見交換会：藤ノ木幹事
- ・開催要領作成（会誌 3 月号への投稿）：稲葉幹事長
- ・資料冊子編集・印刷：佐藤副幹事長
- ・講師への打診・原稿依頼：福岡支部長，渡部（直）副支部長，権田幹事

2. 2018 年度研究発表会（新潟大会）

(1) 今後の大まかな流れ

稲葉幹事長から，次回 2018 年度研究発表会（新潟大会）に向けての今後の大まかな流れの説

明あった。福岡支部長から、別紙資料を用いて企画案の説明があった。これらをもとに検討した結果、以下のように決定した。

開催日：2018年8月21日（火）～23日（木），24日（金）（～25日（土））

8月21日（火）：県民講演会

8月22日（水）～23日（木）：研究発表会

8月24日（金）（～25日（土））：現地見学会

会場：朱鷺メッセ新潟コンベンションセンター（21日～23日）

まずは、会場を上記日程で仮予約する。

来年度早々に準備組織を立ち上げ、地すべり学会本部の事業計画部と連携して進める必要がある。細かい内容の打合せは、次回3月の幹事会から進める。

現地見学会の場所、ルートを選定を早期に検討する必要がある（2017年は長野大会のため、姫川方面は重なる可能性が高く、選定範囲が限定される）。

新潟支部で作成したパンフ類の資料を pdf 化し、DVD 資料として配布する事も検討する。

3. その他

（1）第44回地すべり現地検討会会計報告

稲葉幹事長より別紙収支決算について報告があり、承認された。

（2）支部共催行事での負担金（立山カルデラ現地研修会，9/27～9/28）

稲葉幹事長より報告があり、日本応用地質学会に負担金¥50,000円を支払うことが承認された。

（3）地すべり災害記録CDの編集について

編集担当者は山下副幹事長に決定した。

（4）2協会への負担金請求

稲葉幹事長より報告があり、以下のとおり決定した。

今年度は支部主催での現地検討会を実施できなかったため、2協会への負担金については、通年の金額の75%を請求する。福岡支部長が各協会の担当者と交渉する。

（5）他支部との連携

渡部（直）副支部長より、今後は他支部との連携や情報交換を図り、近隣現地見学会等の事業共催等を検討するのはどうかとの提案があった。今後の検討事項とする。